

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

| | | | | | |
|------|----|-----|-----------|-----|-------|
| 学校番号 | 31 | 学校名 | 仙台市立国見小学校 | 校長名 | 宮崎 善功 |
|------|----|-----|-----------|-----|-------|

- 1 取組のタイトル、テーマ
国見エコ大作戦～身近なところからはじめよう～



2 取組の紹介

(1) 省エネ大作戦（節電・節水への取組）

節電・節水につながる活動に全校児童で取り組みました。環境委員会では、国見小学校の電気代と水道代が1か月でどのくらいかかっているかを調べました。児童たちは、具体的な数値を目にし、その量や金額の多さに驚いていました。前年度より5%減らすことを目標にし、5%分の電気量や水道料は身近なもので表すとどれくらいかを考えました。また、節電・節水につながる行動を調べる活動を通して、1回の消灯でどれほどの節電になるのか、トイレでどのくらいの水を使うのかなど、普段の生活では意識していなかったことについて学ぶことができました。それらの具体的な省エネ行動をポスターやスライドにまとめ、放送で呼び掛けました。

(2) 緑化活動

国見小学校では、毎年全校生徒で花壇に花苗を植え、育てる活動を行っています。今年度は春の苗植えを2・4・6年生が、秋の苗植えを1・3・5年生が担当しました。環境委員会でも、定期的に草取りを実施しました。また今年度は、リサイクルプランターを使用し、2年生の野菜の栽培や3年生のハウセンカの栽培を行いました。

(3) 給食についての学習

1年生では、生活科の学校探検の学習の一環として、栄養士さんから給食についてのお話を聞きました。校内で給食をどのように作っているのかということや、国見小学校全体での残食の量はどれくらいかということを、写真や動画を見ながら学ぶことができました。実物の大きなしゃもじを持ってみるという活動も行いました。野菜や果物を6回も洗っていることや、毎日の残菜の多さを知って、1年生の児童は驚いていました。給食を作ってくれている相手がいるということが実感できたようです。

3 取組の成果（児童生徒の変容）

(1) 省エネ大作戦について

具体的な数値や省エネ行動を提示したことにより、移動教室の際は児童自らが電気を消したり、こまめに水道の蛇口を止めたりするなど、積極的に行動に移す児童の姿が多く見られるようになりました。どうすれば節電・節水につながるかを児童自らが考え、実践するクラスもありました。

10月～12月にかけての結果では、電気代は前年度と比べて9%減らすことができました。

(2) 緑化活動について

1人1つの苗を植えることによって、自分の植えた花に愛着を持ち、水やりを継続して行う児童の姿が見られました。また、全校一斉で草取りと花苗植えを実施できたことにより、自分たちの手で学校の花壇をきれいに保っているという、意識を継続することができています。

(3) 給食に関する学習について

1年生が栄養士の話を聞いた後には、苦手なものでも一口は挑戦したりする姿が増え、残食の量も減りました。また、ご飯の容器やお皿にお米の粒や食べかすが残らないように片付ける意識も高まっていました。

4 来年度について

省エネ行動に関しては、多くの児童が取り組み、継続させるためには、具体的な行動や数値を提示し、結果を振り返ることが大切だと分かりました。意識して行動に移すだけで、目に見えた成果をだすことができました。このように、学ぶことで意識を変え、身近にできることから取り組んでいくことをこれからも継続していきたいと思えます。